

「えひめ丸」犠牲忘れない【水高記者DIARY】2月10日

地域 島根 石見

2024/2/20 (最終更新: 2024/2/20)

島根県水産練習船「神海丸」に乗り込み、ハワイ沖で実習に取り組む浜田水産高(同県浜田市)海洋技術科2年生、関蒼太朗さん(17)=広島市中区出身=が船上の日々を記します。



「えひめ丸」の犠牲者に黙とうをささげる関さん(左端)たち

2月10日 北緯12度53分 西経173度10分



浜田出港後23日目。(慣らし航海で隠岐の島町へ行くため)1月10日に神海丸へ乗り込んで、気付けば1カ月たちました。もはやこの生活が日常になり、夢の中もだんだん神海丸のことが増えてきたように思います。ハワイまであと9日、皆胸を膨らませて観光の計画を立てています。

さて、今日は少し真面目な話をしなければなりません。2月10日は私たち水産高生、ひいては海に関わる者にとって忘れてはならない日なのです。

2001年の今日、ハワイ諸島オアフ島の沖で愛媛県立宇和島水産高の実習船「えひめ丸」が米海軍の原子力潜水艦「グリーンビル」と

衝突しました。「えひめ丸」に乗船していた35名のうち9名の命が奪われ、生還した方々の多くも身体的・精神的な後遺症に苦しむこととなりました。記憶に残っている方も多いのではないのでしょうか。

友と語らい、実習に励みつつ日本に帰ることを夢見る日々。そんな日常を突如打ち砕かれた被害者の苦しみはいかほどだったでしょうか。「無事で帰ってきてほしい」。そんな願いを打ち砕かれた保護者の苦しみはいかほどだったでしょうか。私たちには想像することしかできません。

事故の原因は「グリーンビル」搭乗員の安全確認不足と当時の艦長の判断ミスにあったと言われています。人為的なミスが人命を奪う、まさしくあってはならない事故だったのです。

将来船に乗る者も多い私たちにとって、これは決して人ごとではありません。私たちは被害者の方々と同じ志を持つ者、そして日本の海運、漁業を担う者としてこの事故を永遠に風化させてはならないのです。

今日、船内で「えひめ丸」と犠牲になった方々に1分間の黙とうをささげました。皆の心が届いていることを切に願います。

最後になりましたが、犠牲となった9名の方々、そして深海で眠り続ける「えひめ丸」のご冥福をお祈りします。どうかその眠りが妨げられるようなことがありませんように。（浜田水産高海洋技術科2年・関蒼太郎）